別記様式（第５条第１項関係）

政務活動費収支報告書

令和 8 年 4 月 26 日

津山市議会議長　　殿

津山市議会議員　勝浦　正樹 [redacted]

津山市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により，交付を受けた政務活動費について，下記のとおり報告します。

記

1 収 入

政務活動費の総額　　600,000　　円

2 支 出

項目	支出額	備考
調査研究費 要請・陳情活動費	32,080 円	出張旅費
研修費 会議費	5,000 円	研修受講代
広報費	492,852 円	市政報告ビラ
広聴費	円	
資料作成費	円	
資料購入費	72,000 円	新聞購読料
人件費	円	
事務所費	円	
合計	601,932 円	

(注)備考欄には，主たる支出の内訳を記載すること。

3 残 余

政務活動費の総額－支出の総額　　600,000円－601,932円＝－1,932円

（参考様式１）

（　令和　7　年度）

費目別一覧表

費目名　調査研究費、要請・陳情活動費

年 月 日	支出内容	支出額	備　考
07. 07. 15	博多　（議会関連）研修旅費	21,920 円	
08. 03. 18	東かがわ市（温水プールについて視察	10,160 円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
合　計		32,080 円	

※費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　７　年　７　月　15　日		
費　　目	１．調査研究費、要請・陳情活動費 ②．研修費、会議費 ３．広報費　４．広聴費 ５．資料作成費　６．資料購入費 ７．人件費　８．事務所費	金　額	21,920　円

支出内容	博多　「予算・決算を読み解く」受講のための出張旅費

領収書等貼付欄（支払証明書等は裏に添付のこと）

様式第４号（第３条関係）

支　払　証　明　書

金　　額　21,920　円

（内　訳）

支払年月日	令和７　年　７　月　15　日
支払内容	博多　　研修受講のための出張旅費
支払先	名称　勝浦　正樹 住所　岡山県津山市久米川南 2911
領収書等を徴することができない理由	「津山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等の関する条例」に準じ算出した金額であるため。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和７　年　７　月　15　日

津山市議会議員　　勝浦　正樹　[redacted]

旅費計算書

議員氏名	勝浦　正樹
出張先(内容)	博多　（予算・決算を読み解く　受講）
出　張　日	令和　7年　7月15日

日程	行程			交通手段					
月　日	乗車地		降車地	鉄道費(JR) 基本	鉄道費(JR) 特急等	私鉄	航空費	バス賃等	モノレール
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
	小　計			0	0	0	0	0	0

合計(単位:円)

0	(A)

賃（自家用車）	自宅	→	博多	473	Km				
	博多	→	自宅	473	Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
	小　計			946	Km	×20円（1Kmあたりの単価）	＝	18,920	円

合計(単位:円)

18,920	(B)

交通費		(A)＋(B)　＝	18,920 円
宿泊料		14,800 円× 0 日＝	0 円
日当	県外	3,000 円× 1 日＝	3,000 円
	県内	1,700 円× 0 日＝	0 円
合計			21,920 円

上記出張における旅費計上額　21,920 円

（参考様式２）

2025 年 8 月 8 日

出 張 等 報 告 書

津山市議会議員　　勝浦　正樹

出張日／受講日	2025 年　7　月　15　日
種　　別	☒調査研究・視察　☐要請・陳情　☐研修会（オンラインを含む）　☐各種会議
出　張　先	福岡市博多
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	予算・決算を読み解く 「「財政」について
応対者／講師名	杉本康介　地方議員研究会事務局長
目　　的	ムダ削減と政策提案に繋げるため
概　　要	事業の財源構成のパターンを基に仕組みについて指導を受ける 財政状況資料集の見方と津山市の状況について教わる
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	地方交付税については、どの地域も一定の行政サービスを提供できるように、財源を保証するものであり、国税として国が徴収し一定の合理的な基準によって地方に再配分されており、赤字にならないのが原則である。様々な補助金については認可を受けられないであるとか、取ってこないとかの話しが多いが、基本的には常識通りの申請をすれば得られるのが普通とのことである。従って各自治体によって差があるといわれるところについては、情報が届いているかどうか、また職員のやる気によって大きく左右されることがわかった。これを機会にしっかり状況収集に努め、津山市にとってより良い補助金獲得に向けて努力したい。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　７　年　３　月　18　日		
費　　目	1．調査研究費、要請・陳情活動費 ②．研修費、会議費 3．広報費　4．広聴費 5．資料作成費　6．資料購入費 7．人件費　8．事務所費	金　額	10,160 円

支出内容	東かがわ市、温水プール施設の利便性を調査する為の出張旅費

領収書等貼付欄（支払証明書等は裏に添付のこと）

様式第４号（第３条関係）

支　払　証　明　書

金　　額　10,160　円

（内　訳）

支払年月日	令和　8　年　3　月　18　日
支払内容	東かがわ市、温水プール施設の利便性を調査するための出張旅費
支払先	名称　勝浦　正樹 住所　岡山県津山市久米川南 2911
領収書等を徴することができない理由	「津山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等の関する条例」に準じ算出した金額であるため。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和　8　年　3　月　18　日

津山市議会議員　　勝浦　正樹　[redacted]

旅費計算書

議員氏名	勝浦　正樹
出張先(内容)	香川県東かがわ市　(温水プールについて視察)
出　張　日	令和　8年　3月18日

日程	行程			交通手段					
月　日	乗車地		降車地	鉄道費(JR) 基本	鉄道費(JR) 特急等	私鉄	航空費	バス賃等	モノレール
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
	小　計			0	0	0	0	0	0

合計(単位:円)　0　(A)

賃(自家用車)	自宅	→	東かがわ市	179	Km				
	東かがわ市	→	自宅	179	Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
	小　計			358	Km	×20円 (1Kmあたりの単価)	=	7,160	円

合計(単位:円)　7,160　(B)

交通費		(A)＋(B)　＝　7,160 円
宿泊料		14,800 円×　0 日＝　0 円
日当	県外	3,000 円×　1 日＝　3,000 円
	県内	1,700 円×　0 日＝　0 円
合計		10,160 円

上記出張における旅費計上額　10,160 円

令和 8 年 3 月 18 日

出張報告書

会派：未来

津山市議会議員　勝浦　正樹 [redacted]

出張期間	令和8 年 3月 18 日 ～ 令和 8 年 3 月 18 日
出 張 先	香川県東かがわ市温水プール
出張内容	温水プール施設の利便性を調査
応 対 者	（株）ヤマウチ　アシスタントマネージャー [redacted]様
概　要 所　感	本市のプール建設をめぐる判断材料の一つとして、以前視察に訪れた経緯から、建設後の状況について調査するため。 到着後、午前 10 時半にして 178 台収容の駐車場の約半分に車輌が駐車しており、施設内に多くの利用者が居られると判断できた。予想通り施設内では、25mプール、歩行用プール、トレーニングジム、スタジオの全てに多くの利用者が確認できた。また浴室も好評のようで多くの人の出入りがある。[redacted]様に一連の説明を受けたところ、当初の予想に対し約 3 倍の利用者があるとのことで、新プール建設を判断した東かがわ市の取り組みは成功ではないかと判断できる。

（参考様式１）

（　令和　7　年度）

費目別一覧表

費目名　研修費・会議費

年 月 日	支出内容	支出額	備　考
07. 07. 15	「予算・決算を読み解く」受講代	5,000 円	
~~08. 04. 24~~		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
合　計		5,000 円	

※費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　7　年　7　月　15　日		
費　　目	1．調査研究費、要請・陳情活動費 ②．研修費、会議費 3．広報費　4．広聴費 5．資料作成費　6．資料購入費 7．人件費　8．事務所費	金　額	5000　円

支出内容	「予算・決算を読み解く」受講費

領収証

2025　年　7　月　15　日

勝浦正樹　　様

★　¥5,000

但　7/15　予算・決算を読み解く

研修会受講代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区[redacted]
TEL 050-1089-9835

（参考様式１）

（令和　7　年度）

費目別一覧表

費目名　広報費

年 月 日	支出内容	支出額	備　考
07. 04. 18	市政報告ビラNo.13・封筒印刷代	159,720 円	
07. 05. 07	市政報告ビラNo.13 郵送代	20,130 円	
07. 05. 08	市政報告ビラNo.13 郵送代	38,400 円	
07. 05. 09	市政報告ビラNo.13 郵送代	28,320 円	
07. 10. 30	市政報告ビラNo.14 郵送代	31,680 円	
07. 10. 31	市政報告ビラNo.14・封筒印刷代	159,720 円	
07. 10. 31	市政報告ビラNo.14 郵送代	34,752 円	
07. 11. 04	市政報告ビラNo.14 郵送代	20,130 円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
. .		円	
合　計		492,852 円	

※費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和 7 年 4 月 18 日		
費　目	1．調査研究費、要請・陳情活動費 2．研修費、会議費 ③．広報費　4．広聴費 5．資料作成費　6．資料購入費 7．人件費　8．事務所費	金　額	159,720　円

支出内容	市政レポートNo.13　2,100 枚 封筒　1,000 枚 印刷代

領　収　証

令和 7 年 4 月 18 日

勝浦正樹　様

金　額	¥	1	5	9	7	2	0

但し 市政レポート(No13) 2100枚 } 印刷代金
封筒 1000枚
上記の金額正に領収いたしました

総合印刷
小林印刷
小林正廣
〒709-4615 岡山県津山市一色[redacted]
TEL・FAX(0868) 57－2061



市民の暮らしにコミット!!

津山市議会議員

かつうら正樹の市政レポート

発行者 / 勝浦正樹 /〒709-4614 津山市久米川南 2911/[redacted]

＝ごあいさつ＝

津山市民の皆様、いつもお世話になっております。今年 2025 年は、平成の市町村合併から 20 周年を迎える記念の年となります。勝北・久米・加茂・阿波を加えた１市３町１村の合併により、506.33 ㎢と広大な面積となった津山市ですが、この 20 年間で人口は約１万５千人減少するなど、大きな変動となっています。しかし、町の活力は失われておらず歴史文化を中心とした行政機能や、岡山県内第３の都市であり、県北の中心として多くの方々に愛され親しまれていることは、これまでの市政の継続性からも明らかであります。これからもこの歩みを止めることのないよう行政・市民が一体となって町づくりを行っていく必要があり、町内会など地域コミュニティーを中心に対話と協働に努めて参りましょう。今年の春は、全国各地で山林火災が発生しました。原因については人的なミスによるところが大きいと報告されており、火の取り扱いには充分に注意しましょう。新年度も順調にスタートしましたが、これから台風シーズンを迎えます。これまでの教訓を基に災害への備えをよろしくお願いいたします。今回のレポートは、令和６年 12 月議会と令和７年３月議会の内容についてお知らせいたします。予算他議会の詳細は、QR コードにてご覧ください。

12 月定例会（令和６年 11 月 25 日～12 月 17 日かつうら正樹が一般質問を行いました

令和６年度補正予算　（第４次）14 億 2,643 万円

～物価高騰対策～

○住民税非課税世帯生活応援金給付事業　7,963 万円
- 対象世帯数　12,500 世帯
- 支給額　５千円 / 世帯
- 支給期間　令和７年２月中旬頃から随時支給予定

○IJU トータルサポート事業（住まいの支援事業）　500 万円
県外からの移住者に対する空き家活用補助金増加

○人・農地プラン事業　980 万円
担い手への農地集積・集約化に取り組む地域への協力金

○補助交通安全施設整備事業　３億 4,800 万円
小・中学校通学路における歩道設置及び拡幅工事等の安全対策

第４次補正予算　第５次補正予算　12 月一般質問





令和６年度　補正予算　（第５次）４億 1,640 万円

○住民税非課税世帯臨時特別給付金給付事業

非課税世帯分
- 支給対象　令和６年度住民税非課税世帯
- 支給額　３万円 / 世帯　約 12,500 世帯
- 申請期限　令和７年７月末日

こども加算分
- 支給対象　令和６年度住民税非課税世帯のうち 18 歳以下の児童を扶養する世帯
- 加算額　２万円 / 児童１人当たり　約 740 世帯、約 1,400 人



一般質問

問：下水道普及率と水洗化率は。

答：令和５年度末時点で普及率は 39.4%、水洗化率は 82.3%です。

問：水道事業経営審議会の答申で、料金改定率が 10.62%とされたが今後の値上げの時期は。

答：状況を見極めながら慎重に判断していきたいと思います。

問：下水道に接続する場合と合併処理浄化槽を設置した場合の維持費はどのくらいになるのか。

答：下水道使用料は一般的に３人世帯の例で年間約４万２千円、合併処理浄化槽の経費は年間約５万円～５万５千円とブロワーの電気代となります。

意見　上下水道事業については、将来的に人口減少による水需要の減少や、設備の老朽化による耐震化が急がれているため、厳しい経営状況となっています。そのため国は広域化を推進しており、今後調査研究が必要となってきます。しっかりと精査し市民にとって負担とならない方策を考えて行く必要があります。

問：集落営農組織や農事組合法人によって、農地の維持や担い手の育成に繋がると考えるが新規の設立や推移は。

答：集落営農組織が 18 組織で、農事組合法人が 26 法人設立されており、近年は農事組合法人が増加傾向にあります。

問：今後、所有者不明の土地の増加に伴い、管理できていない土地も増えていくと予想されるが、市独自の補助金を設けて対応するべきでは。

答：不動産の相続登記が義務化されるなど、全国的な課題でもあり国や県、他都市の動向を注視し対応策を模索してまいります。

問：山林・原野化している農地の状況は。

答：令和４年度と令和５年度の比較で 17 ヘクタールの農地が山林・原野化しています。

意見　近年、山林・原野化している農地が増加しており、地域の景観を損ねると共に危険性も高まっています。この様な現象は今後も増えていくことが予想され、行政が責任をもって管理するべきと考えています。解決には行政と地域の連携が重要であり、農村型地域運営組織（農村ＲＭＯ）の取り組みによって地域課題の解決を考えていければと思います。

問：ゼロカーボンシティ宣言後の取り組みと市民の認知度は。

答：「一斉ライトダウンキャンペーン」などの住民啓発事業を中心として、住民一人一人が必要性を認識し主体的に取り組むことが不可欠であると考えており、引き続き住民啓発につとめてまいります。

裏面に続く→

問：CO^2 吸収源として有効な森林資源に対する考えは。
答：皆伐などの更新作業を進めるとともに、炭素を固定する木材を住民に積極的に使用することで、カーボンニュートラルに貢献していきたいと考えています。
問：木質バイオマスの取り組み状況は。
答：地域経済の活性化にも繋がる重要な取り組みであり、適切な支援を行っていきます。
感想 地球温暖化防止のために、脱炭素の取り組みが急がれています。その吸収源となる山林を多く抱える津山市にとって、地域資源の活用により地球環境保護に貢献すると共に、地場産業の振興にも繋がっていくものと考えます。

３月定例会（令和７年２月25日～３月18日）会派未来が代表質問を行いました

令和６年度補正予算　（第６次）７億7,014万円

○小・中学校施設整備事業　５億110万円
○戸島学校食育センター施設・設備改修事業　3,960万円
　国補正予算に伴う空調改修工事
○城西地区観光拠点施設等整備事業　3,425万円
　城西地区観光駐車場防災機能付きトイレ建築工事
○津山城下町歴史観光まちづくり推進事業　１億7,841万円
　国補正予算に伴う施設整備等の前倒し実施

第６次補正予算　令和７年度当初予算概要　令和７年度当初予算　３月代表質問

令和７年度一般会計当初予算　　531億400万円

○大学公立化検討事業　1,604万円
　地域ニーズなどについての調査・分析を行い有識者会議を開催します。
○友好交流都市派遣事業　735万円
　市内の中高生が友好都市サンタフェ市を訪問し、ホームステイを行うなどグローバルな視点を持った人材を育成します。
○重層的支援体制整備事業　5,250万円
　地域福祉コーディネーターを配置した拠点を創設します。
○児童手当費　21億1,305万円
　支給対象年齢の拡大・第３子加算の増額、所得制限の廃止などの制度が改正されました。
○防犯カメラ設置費助成事業　400万円
　補助率を1/2から2/3、補助上限額を10万円から20万円に拡大します。
○帯状疱疹ワクチン接種事業　134万円
　独自に50歳、55歳、60歳の方も対象に助成を行います。
○つやま産業支援センター企業サポート事業　１億700万円
　中小企業の省力化や生産性の向上につながるICT・ロボット等の導入を支援します。
○リスキリングセンター事業　1,656万円
　子育てや介護などで就労に制限のある人が、ITを活用してテレワークを仕事として行える環境を整備すると共にスキルの習得・キャリアアップのサポートを行います。
○津山駅北口広場デジタル化施設整備事業　1,477万円
　防犯カメラによるAI映像解析システムを導入し、交通状況を把握しながらデジタルサイネージで案内を行い、周辺地域の安全と利便性の向上に取り組みます。
○公園施設整備事業　3,000万円
　ｸﾞﾘｰﾝﾋﾙｽﾞ津山へ大型遊具を新設します。
○消防団運営事業　１億4,850万円
　消防団員の処遇改善として、年額報酬の見直しや出動報酬を創設します。
○ふれあい学習館改修事業　3,262万円
　久米地域のふれあい学習館のトイレを男女共用からセパレート化するなど改修します。
○全国高等学校総合体育大会関係費　2,479万円
　本市で開催されるインターハイのソフトボール競技（男女）の大会成功を目指します。
○津山スポーツセンターサッカー場改修事業　２億4,570万円
　老朽化した人工芝を張り替えます。







代表質問

３月定例会では令和７年度当初予算の審議が行われるため、市長より７年度に取り組む施策についての重点目標とまちづくりのビジョンが示され、市政方針として発表が行われます。そのため会派としての考え方や方向性について、統一的に対応しようとの観点から代表質問にて質問を行いました。質問項目については、道路整備、上下水道耐震化、防災防犯対策、地域公共交通、出産子育て、学校教育、保健福祉、救急医療、雇用、企業誘致、移住定住、産業支援センター、農林業、環境、鳥獣被害、スポーツ施設整備、歴史文化、観光、行財政改革など市政全般にわたっての質問を行いました。詳細についてはＱＲコードにてご確認ください。なかでも今議会では、多くの議員から美作大学公立化についての質問がありましたので、市当局の回答による今後のスケジュールについてお知らせいたします。

今年中に有識者会議を５回程度開催し、最終回には議論の結果を報告書として取りまとめていただこうと考えています。その内容や議会での議論のほか、住民や事業者のご意見なども踏まえながら、判断したいと考えています。

編集後記
最後まで読んでいただきありがとうございました。令和７年度予算が決定いたしました。新年度事業の注目点ですが、高齢者や障害のある方や子供などが安心して暮らすことが出来る地域共生社会の実現を目指すため、重層的支援体制整備事業が本格的にスタートします。そのため関係する諸事業に対して手厚い予算配分が示されました。また度重なる災害に対して、それを支える消防団員不足解消のために必要なのが、消防団員の処遇改善を行うべきであり、昨年９月定例会で指摘していましたところ、新年度では年額報酬の見直しや出動手当が創設されました。さらに建設から長期間経過し、老朽化しているインフラや児童生徒の通学路における安全確保と道路整備等の交通安全に関する予算が大幅に拡充されています。その他多くの事業が予定されており、行政と地域が一体となって住みやすい町づくりを行っていけたらと思います。皆様の市政に対するご意見ご提言もお待ちしております。

料金別納
郵便

郵便区内特別

事務連絡

****

かつうら正樹

事　務　所

〒709－4614　津山市久米川南 2911

TEL0868－57－9370

****

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　７　年　５　月　７　日		
費　　目	１．調査研究費、要請・陳情活動費 ２．研修費、会議費 ③．広報費　４．広聴費 ５．資料作成費　６．資料購入費 ７．人件費　８．事務所費	金　額	20,130　円

支出内容	市政レポートNo.13　郵送料 183 通×110 円

領　収　書

第 442614-09 号

おなまえ	勝浦正樹　様
受領金額	百万 千 ¥ 2 0 1 3 0 円
10%	20130 円
（内消費税等	円）
8%	円
（内消費税等	円）
非課税	円

※ 金額欄を訂正しているものは無効です

＜領収内訳＞		＜備考＞
現金	円	
小切手	円	
切手	20130 円	
証紙	円	
キャッシュレス決済	円	
（決済ブランド名：	）	

お取引の内容

郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 （別納 計器予納金 受取人払 後払 その他（　　））	定形（@110円）×183（枚・個・通）件	（@　円）×　（枚・個・通・件） （@　円）×　（枚・個・通・件） （@　円）×　（枚・個・通・件）
貯金			
保険	保険料の払込み	保険証券（書）の記号番号	払込期間及び払込月数 年　月期から　年　月期まで　年　か月分 年　月期から　年　月期まで　年　か月分
物販等	店頭販売商品の販売　カタログ販売 その他（　　）	（申込書番号） 8%（食品）＊	10%（食品以外）

＊印は軽減税率対象商品です

上記の金額を、確かに領収いたしました。

7 年 5 月 7 日

日本郵便株式会社
（所在地：東京都千代田区大手町2丁目3番1号）
登録番号：T1010001112577

取扱郵便局　宮部簡易　郵便局

電話番号　0868-57-2997

取扱者氏名　[redacted]

【郵便局】収入印紙　課税相当額以上貼付　取扱者印

※　裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 442614-09 号

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　７　年　５　月　８　日		
費　　目	１．調査研究費、要請・陳情活動費 ２．研修費、会議費 ③．広報費　４．広聴費 ５．資料作成費　６．資料購入費 ７．人件費　８．事務所費	金　額	38,400 円

支出内容	市政レポートNo.１３　郵送料 400 通×96 円

裏に添付のこと）

領収書

かつうら正樹　様

［別納引受］
区内特別基（定）　15.5g
@96　400通　¥38,400

小　計　¥38,400

郵便物引受合計通数　400通
課税計(10%)　¥38,400
(内消費税等(10%)　¥3,490)
非課税計　¥0

合計　¥38,400
お預り金額　¥40,000
おつり　¥1,600

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号　T1010001112577
取扱日時：2025年 5月 8日 11:45
発行No.250508A2191　端N50箱01
連絡先：宮尾郵便局
TEL;0868-57-2500

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　７　年　５　月　９　日		
費　　目	１．調査研究費、要請・陳情活動費 ２．研修費、会議費 ③．広報費　４．広聴費 ５．資料作成費　６．資料購入費 ７．人件費　８．事務所費	金　額	28,320　円

支出内容	市政レポートNo.１３　郵送料 ２９５通×９６円

（領収書等は裏に添付のこと）

領収書

勝浦正樹　様

［別納引受］
区内特別基（定）　16.0g
@96　295通　¥28,320

小　計　¥28,320

郵便物引受合計通数　295通
課税計(10%)　¥28,320
(内消費税等(10%)　¥2,574)
非課税計　¥0

合計　¥28,320
お預り金額　¥30,320
おつり　¥2,000

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号　T1010001112577
取扱日時：2025年 5月 9日 15:58
発行No.250509A1637　端N42箱01
連絡先：坪井郵便局
TEL:0868-57-2300

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　7　年　10　月　30　日		
費　　目	1．調査研究費、要請・陳情活動費 2．研修費、会議費 ③．広報費　4．広聴費 5．資料作成費　6．資料購入費 7．人件費　8．事務所費	金　額	31,680 円

支出内容	市政レポートNo.14　郵送料 330 通×96 円＝31,680 円

領収書等貼付欄（支払

領収書

勝浦 正樹　様

[別納引受]
区内特別基（定）　15.5g
@96　330通　¥31,680

小　計　¥31,680

郵便物引受合計通数　330通
課税計(10%)　¥31,680
(内消費税等(10%)　¥2,880)
非課税計　¥0

合計　¥31,680
お預り金額　¥40,000
おつり　¥8,320

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号　T1010001112577
取扱日時：2025年10月30日　12:59
発行No.251030A2169　端N42箱01
連絡先：坪井郵便局
TEL:0868-57-2300

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　7　年　10　月　31　日		
費　　目	1．調査研究費、要請・陳情活動費 2．研修費、会議費 ③．広報費　4．広聴費 5．資料作成費　6．資料購入費 7．人件費　8．事務所費	金　額	159,720 円

支出内容	市政レポートNo.14　2,100 枚 封筒　1,000 枚 印刷代

領　収　証

令和 7 年 10 月 31 日

勝浦正樹　様

金　額	¥	1	5	9	7	2	0

但し市政レポート(No14) 2,100枚
封筒　1,000枚
印刷代金
上記の金額正に領収いたしました

総合印刷
小林印刷
小林正廣
〒709-4615 岡山県津山市一色8
TEL・FAX(0868) 57－2061



市民の暮らしにコミット!!

津山市議会議員

かつうら正樹の市政レポート

発行者 / 勝浦正樹 /〒709-4614 津山市久米川南 2911/

＝ごあいさつ＝

津山市民の皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。今年の夏は、これまで経験したことのないほど暑く長い夏となりました。暑さへの対応も苦慮されたことと思いますが、適切な対策で乗り切り、ようやく爽やかな実りの秋を迎えています。そして今年は戦後８０年となり、戦争を知らない世代が多くなった社会ではありますが、将来を考えるうえで大切な節目の年となります。そのようなことから、先般の参議院選挙の結果からもわかるように、人々の考え方も大きく変化しています。今後どのような社会を目指すべきか町づくりを考えるうえで、津山市も来年早々に市長選挙となるのですが、私たちの未来にとって、夢と希望を叶えてくれるのはどの候補が良いのか、しっかり政策を見極めて判断していきましょう。

また「美作大学の公立化に関する有識者検討会議」の第１回が６月21日に行われました。美作大学により要望された公立化について、専門的かつ客観的見地から議論を行い、本市としての方針を決定するための判断要素を示していただくことを目的に、今後５回の検討会議が行われ、報告書として市への提言が行われます。委員は９名であり、会長に西山修　岡山大学大学院教育学研究科副研究科長、副会長に白山真一　宇都宮大学データサイエンス経営学部教授が選任されました。しっかりと議論を注視してまいります。

今回のレポートは、令和７年６月定例会と９月定例会の内容についてお知らせいたします。予算他定例会の詳細は、QR コードにてご覧ください。

６月定例会（令和７年６月９日～７月１日）かつうら正樹が一般質問を行いました

今回の６月定例会では補正予算を伴う案件はなく、条例改正と請願に対する審議が行われました。また５月９日に行われた臨時会では議会構成替えが行われ、かつうら正樹は建設・水道委員長を拝命することになりました。建設水道委員会は、町内会や学校などから多くの要望が持ち込まれる部署だけに、市民の関心も高い委員会であると理解しています。それだけに適正な予算執行が必要であり、要望の採択や優先順位が公正公平に判断されるよう委員長として、効率的な議事運営に努めていきたいと思います。また新たに道路建設や、上下水道の耐震化、災害対策についても調査研究をしっかり行い、より良い提案に結び付けていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。さらに５月臨時会では、美作大学公立化について有識者検討会議と並行して議会側としても調査研究が必要なことから、津山市議会調査特別委員会が設置されました。１１月５日の第５回検討会議を最後に報告書が提出され、１２月定例会での議決が想定されています。検討会議での審議内容と議会調査特別委員会での調査内容を基に津山市にとっての必要性を考えてまいります。

６月一般質問　９月一般質問　第１次補正予算



一般質問

(問) コミュニティ・スクール導入の評価についてお知らせください。

(答) 学校に対する地区住民の理解が進み、以前にも増して円滑な教育活動が展開できていると考えています。

(問) コミュニティ・スクール委員のハードな任務に対して、報酬の増額を考えるべきでは。

(答) 今後増額も検討してまいります。

(問) 今後の体制整備の進め方として、教育委員会が先頭に立って会議を運営するべきでは。

(答) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を中心に、まずは校区代表者を選任いただき、協議を進めていただくことが重要であると考えています。

所見 学校統廃合について教育委員会は、あくまで地域に委ねるという方針であり、進め方によっては紆余曲折が予想されます。したがって行政の密接な関与は必要と考えます。また中心となるコミュニティ・スクール委員の方々は、その他学校に関連した様々な任務に対応してくださっており、感謝の念に堪えません。安定した学校づくりのためにコミュニティ・スクール委員の方へ、地域での支援と協力が必要と考えます。

(問) 近年、急速に森林の伐採が進んでいるが、土石流に繋がらないか心配される。現在の状況をどのように分析し、対応するのか。

(答) 適切な森林整備の実施や皆伐再造林などによる森林の更新が必要不可欠であり、無計画な伐採は山地崩壊に繋がることも考えられます。そのようなことから、一箇所当たりの伐採面積の上限など津山市森林整備計画に定め指導を行っております。

(問) 認知症の方々の見守りについて、取り組みや対策はどうか。

(答) 道に迷う恐れのある高齢者には、事前に登録していただき捜索が必要となった場合は、協力者に捜索依頼メールを市が配信する「SOS メール事業」や、認知症の方が自室から出たことを把握できる「老人徘徊感知装置」の貸与や、単身高齢者に対しては緊急通報装置の貸与を介護サービスで行っています。

所見 今年も災害を心配する季節となっています。そのなかで消防団の重要性が高まっていますが、近年は大型の火災や大雨による警備警戒、また認知症高齢者の捜索など出動が多くなっています。消防団の持つ使命感と郷土愛によって大切な命と財産を守って頂かなければなりません。そのためにも消防団への感謝と理解が進むことを切に願っております。

(問) 本年２月に津山市スポーツ施設整備基本方針が示されたが、集約廃止の方向で見直した場合に、真に必要性の高い施設の見込みについて、どのくらいを見込んでいるのか。

(答) 基本方針の区分にある「地域特性スポーツ施設」が必要性の高い施設と考えており、７施設を設定しております。

(問) プロスポーツ大会など、観るスポーツによる観客者が増加し、観客席や駐車場が不足しているが対応策は。

(答) 本市でプロスポーツ大会が開催できる施設は、津山陸上競技場と津山市総合体育館の２施設です。総合体育館では 1,700 人を超える観客が来られる場合もあり、現在岡山県に対して増席の要望をしているところです。

裏面に続く→

意見　スポーツ施設については合併前に旧市町村で整備されたものが多く、老朽化などにより施設の維持管理が大きな課題となっています。そのようなことから集約化に向けた基本方針が示されました。本市のスポーツ分野では各方面で活躍している方も多く、恵まれた自然環境と自信を持った教育プログラム等の取り組みによるものであり、それを支える施設の維持管理は非常に重要なことであります。市民の方々の理解と協力によって、スポーツの元気な町津山を創っていきましょう。

※「地域特性スポーツ施設」７施設　津山弓道場・津山総合体育館・津山陸上競技場・加茂町スポーツセンター体操練習場・勝北総合スポーツ公園野球場・津山市ターゲットバードゴルフ場・久米総合文化運動公園市民プール

９月定例会（令和７年９月１日～10月１日）かつうら正樹が一般質問を行いました

令和７年度補正予算（第１次）17億7,604万円

～物価高騰対策～

○救護施設・障害者施設・高齢者施設・障害児施設　物価高騰対策事業　　3,769万円
　支給額　　入所系－1,500円×定員数×6月　　通所系－500円×定員数×6月

○飼料高騰緊急対策支援事業　　1,073万円
　補助額　　乳用牛3,000円×頭数　　肉用牛（繁殖）2,000円×頭数　　肉用牛（肥育）3,000×頭数　　豚400円×頭数

～主な事業～





○子育て世代包括支援事業
　産後ケアの利用者増に伴う委託料の増額　　315万円

○自動運転バス運行事業　　6,500万円
　津山駅～リージョンセンターまでの実証運行委託料

○公共交通利便性向上事業　　460万円
　旧津山市内の交通空白地の解消に向けた調査費

○有害鳥獣駆除事業　　192万円
　豚熱感染防止対策としての猪捕獲補助金（単県2,000円×市上乗せ2,000円）

○地域総合整備資金貸付事業　　３億2,500万円
　一般財団法人地域総合整備財団の支援を受けて事業所の施設整備を行う民間事業者への無利子貸付事業

○企業立地促進事業７億6,141万円
　企業立地重点的促進区域における奨励金（土地・家屋・償却資産・固定資産税相当額）
　工場を新設し、操業開始した企業に対する奨励金（家屋・償却資産・新規常用雇用に対する助成）

一般質問

（問）建設業では事業継続が厳しいと聞いているが、津山市の状況はどうですか。

（答）市全体の全事業所数は過去７年間で、5.9％の減少率に対し、建設業は12.0％となっています。また従業者数については、全業種は0.2％の減少率に対し、建設業は12.0％となっています。

（問）津山リスキリングセンターについて、どのくらいの方が実際に仕事を得られるのか見通しをお聞かせください。

（答）国の調査では2030年には、IT人材が40～80万人不足すると予測されており、求人は一定程度増加していくと見込んでいます。一方でテレワークを推進している事例は、他都市でもあることから事例を参考に、企業とのマッチングに向けた運営計画の策定も調査と並行し進めています。

意見　津山市の雇用と企業の状況については、トランプ関税や物価高の影響はあるものの比較的順調に経営が行われているようです。しかし建設業は深刻な状況となっており、行政として国や県に対しての要望と予算確保にしっかり取り組んでいかなければなりません。そのためには職員のスキルアップによって補助金などの獲得が必要ですので、専門的に取り組めるよう環境づくりに努めてまいります。津山リスキリングセンターについては、女性活躍と共に障害をお持ちの方、引きこもりの方のチャンスを掴む場所となっていくものと考えています。

（問）中学校の水泳の実技指導は、令和７年度以降に順次止めるとなっていますが、なぜそのような判断になるのか。

（答）教員による専門的な指導に限界があることや、プールに入らず見学する生徒も多いことから、中学校では心肺蘇生・救命救急・応急手当など実践的な理論学習を実施します。

（問）小学校では民間プール・市営プールの利用を考えていますが、移動などの問題もあり、利用できない学校の受け皿等どの様にされますか。

（答）数カ所を拠点校としてプール施設を維持管理し、複数校で共同利用する方式の導入を検討しています。

意見　今年の夏も海や川で多くの方が、命を落とされたとニュースで報じていました。近年のゲリラ豪雨などから水への恐怖は認識できていますが、いざというときの対処が肝心ですので、しっかりとした知識と体験によって大切な命を守っていきましょう。

（問）社会保障費の現状や今後の見込みについてお示しください。

（答）過去10年間で一般財源所用額は、約81億円から約105億円にまで増加しています。今後も高齢者の進展により、当面は高止まりが続くものと考えております。

（問）国民健康保険や介護保険事業の今後の見通しは。

（答）国民健康保険は、県内27市町村の内14番目となっています。今後も現状のまま推移するものと考えています。介護保険については、要介護認定者の人数が今後10年間、少しずつ増加していくと予測しており、将来的には増額が必要と予測されています。介護保険料は、県内で７番目に安い保険料となっています。

意見　国は増え続ける社会保障費に対応するため、医療費・介護費の削減を打ち出しています。これにより高齢者を取り巻く環境が悪化することは確実であり、安心して暮らしていくための対策が求められます。しかし、そこには財源が必要であり効率的な財政運営と財源確保に取り組んでいかなければなりません。そのなかで、津山市が得意とする公民連携やふるさと納税、また産業支援センターを中心に、雇用と企業の安定に力を入れていくことが必要と考えます。

編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございました。今年も秋祭りの季節を迎えています。台風などの災害もなく安定した農繁期となっており、皆の笑顔に励まされ地域の平和に感謝したいと思います。一方今年は戦後８０年となり、節目の年を迎えています。今日の平和があるのも先の大戦で祖国のために戦っていただいた戦没者の方々のおかげであります。その戦没者の方々に報いるためにも、今を生きる私たちは地域の安全と平和を願い、皆で協力しながら住みやすい地域を創っていきましょう。尚報告として私が所属している津山市議会　会派未来の政岡あきひろ議員が病気のためお亡くなりになられました。これまで代表として支えてくれていただけにとても残念なことです。心からお悔やみ申し上げます。今後については、不肖ながら私、勝浦正樹が代表を務めさせていただくことになりました。会派未来の仲間５人とともに、津山市の発展のために全力を尽くす所存でありますので、変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。皆様の市政に対するご意見ご提言もお待ちしております。

料金別納
郵便

郵便区内特別

事務連絡

****

かつうら正樹

事務所

〒709－4614 津山市久米川南 2911

TEL0868－57－9370

****

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和７　年　10　月　31　日		
費　　目	１．調査研究費、要請・陳情活動費 ２．研修費、会議費 ③．広報費　４．広聴費 ５．資料作成費　６．資料購入費 ７．人件費　８．事務所費	金　額	34,752 円

支出内容	市政レポートNo.１４　郵送料 362 通×96 円

領収書等貼付欄（支払証

領収書

勝浦 正樹 様

［別納引受］
区内特別基（定）　15.5g
@96　362通　¥34,752

小　計　¥34,752

郵便物引受合計通数　362通
課税計(10%)　¥34,752
(内消費税等(10%)　¥3,159)
非課税計　¥0

合計　¥34,752
お預り金額　¥34,752

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号　T1010001112577
取扱日時：2025年10月31日　16:01
発行No.251031A3547　端N50箱01
連絡先：宮尾郵便局
TEL:0868-57-2500

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　7　年　11　月　4　日		
費　　目	1．調査研究費、要請・陳情活動費 2．研修費、会議費 ③．広報費　4．広聴費 5．資料作成費　6．資料購入費 7．人件費　8．事務所費	金　額	20,130　円

支出内容	市政レポートNo.14　郵送料 183 通×110 円

領　収　書

第 442614-10 号

おなまえ	勝浦正樹　様
受領金額	百万 千 2 0 1 3 0 円
10%	20,130 円
	（内消費税等　　円）
8%	円
	（内消費税等　　円）
非課税	円

※ 金額欄を訂正しているものは無効です

<領収内訳>

現金	円
小切手	円
切手	20130 円
証紙	円
キャッシュレス決済	円
（決済ブランド名：　）	

<備考>

お取引の内容

郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 ［別納　計器予納金　受取人払 着払　その他（　）］	米神校前（@110 円）×183（枚・個・通・件） （@　円）×　（枚・個・通・件）　（@　円）×　（枚・個・通・件） （@　円）×　（枚・個・通・件）　（@　円）×　（枚・個・通・件）
貯金		
保険	保険料の払込み	保険証券（書）の記号番号 / 払込期間及び払込月数 年　月期から　年　月期まで　年　か月分 年　月期から　年　月期まで　年　か月分
物販等	店頭販売商品の販売　カタログ販売 その他（　）	（申込番号） 8%（食品）＊　10%（食品以外）

＊印は軽減税率対象商品です

上記の金額を、確かに領収いたしました。

7 年 11 月 4 日

日本郵便株式会社
（所在地：東京都千代田区大手町2丁目3番1号）
登録番号：T1010001112577

取扱郵便局 〒709-4602 郵便局
岡山県津山市宮部下1027-1
電話番号 宮部簡易郵便局
TEL 0868-57-2997 FAX 0868-57-2997
取扱者氏名 [redacted]

【郵便局】
収入印紙
課税相当額
以上貼付
取扱者印

※　裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 442614-10 号

（参考様式１）

（　令和　7　年度　）

費目別一覧表

費目名　　資料購入費

年 月 日	支出内容	支出額	備　考
08. 04. 01	山陽新聞購読料	46,800 円	
08. 04. 15	津山朝日新聞購読料	25,200 円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
合　　計		72,000 円	

※費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　８　年　４　月　１　日		
費　　目	１．調査研究費、要請・陳情活動費 ２．研修費、会議費 ３．広報費　４．広聴費 ５．資料作成費　⑥．資料購入費 ７．人件費　８．事務所費	金　額	46,800 円

支出内容	山陽新聞購読料 令和７年４月～令和８年３月

領収証　津市議会議員　勝浦正樹　様　No.＿＿＿＿＿＿

★　¥46,800-

但新聞代R7.4月～R8.3月まで　¥3,900×12ヶ月

R8年　4月　1日　上記正に領収いたしました

登録番号:T7260001026722

内　訳

税抜金額

消費税額等(　%)

〒708-0014 岡山県津山市院庄1037番地6

株式会社 久米新聞販売所

TEL・FAX(0868)28－6066

[redacted]

コクヨ　ウケ-87

式第３号（第３条関係）

支　出　伝　票

支出日	令和　８　年　４　月　15　日		
費　　目	１．調査研究費、要請・陳情活動費 ２．研修費、会議費 ３．広報費　４．広聴費 ５．資料作成費　⑥．資料購入費 ７．人件費　８．事務所費	金　額	25,200 円

支出内容	津山朝日新聞購読料 令和７年４月～令和８年３月

領収証

勝浦正樹　様

¥ 25,200-

但 令和7年4月～令和8年3月分（口座）

☑新聞購読料（軽減税率対象）　上記金額正に領収いたしました

消費税10%対象		消費税8%対象	
税抜金額	円	税抜金額	23,334 円
消費税	円	消費税	1,866 円

収入印紙

令和 8 年 4 月 15 日

株式会社 津山朝日新聞社

〒708-0052 岡山県津山市田町13 ☎0868-22-3155

登録番号　T7260001019957

取扱者